

授業科目名	保育内容「言葉」指導法	担当教員名	松田 智子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む） 言葉 / 保育内容演習
必修・選択/単位数	必修 / 1単位（15時間）	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 前期（2期） / 年間開講数 2講座	特記事項	※小学校教諭、教育委員会幼稚園担当指導主事、中学校校長の長年にわたる実務経験等を活かして指導をする。 ※「保育内容演習」の指導内容を含む
授業の概要 及び 全体目標	幼稚園教育のねらい及び内容を理解するとともに、領域「言葉」と他の4領域との関連について総合的にとらえる力を養う。乳幼児の発達に応じた言葉の育ちの指導と評価の方法について、具体例を基に話し合い、理解を深める。小学校就学前にまでに子どもに育みたい「10の力」と小学校教科の関連を意識し、領域「言葉」の役割を明らかにしつつ、そのための保育実践（指導目標の設定、全体の環境構成、具体的な教材、視聴覚機器の有効活用、指導案の作成方法、評価の方法など）を身に付ける。実際の保育を想定した指導案をもとに、模擬保育を行う。その事前には共同で指導案を作成し、事後には保育記録等を基に話し合いを行い、指導力を高める。		
到達目標	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 ①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「言葉」のねらい及び内容を理解している。 ②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ③幼稚園教育における評価の考え方や方法を理解している。 (1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 ①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「言葉」のねらい及び内容を理解している。 ②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ③幼稚園教育における評価の考え方や方法を理解している。 ④領域「言葉」において幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。 (2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。 ①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ②領域「言葉」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用方法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ④模擬保育とその評価や振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 ⑤領域「言葉」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。 (振り返りでは、アクティブ・ラーニングを取り入れる)		
テキスト	「保育内容言葉－基本的事項の理解と指導法－」戸田雅美編集(建帛社)		
参考書・ 参考資料等	「平成29年度告示幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保認定型こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社） 資料として、毎時間プリントを配布し、ミニレポートを書いて、授業を進める。		
成績評価の方法	理解度・到達度ワークシート(毎回)（50%）、課題(レポート・指導案等)（30%）、受講態度積極性(20%)		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については毎回の授業後に指示する。授業中のワークは毎回提出し、次の時間に返却する、その時に疑問点や多い間違いについては、解説を行う。 オフィスアワー 授業終了後(研究室) 質問事項を質問シートに記載し、学務室経由で事前に提出すること。		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	領域「言葉」のねらいと内容 ①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本の理解 ②領域「言葉」のねらい内容と教育要領の全体構造との関係の理解する		(1)-①,(1)-②,(2)-①
第2回	領域「言葉」のねらいと内容 ①領域「言葉」のねらいと内容を踏まえ、幼児が経験を通して身に付けてほしいことの指導の留意点を理解する		(1)-①,(1)-②,(2)-②
第3回	領域「言葉」のねらいと内容 ①就学前までに育ってほしい「10の力」 ②「10の力」の具体化と幼稚園の5領域の関係		(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①
第4回	領域「言葉」の指導法と保育実践 ①保育実践を行うについての事前の理解事項（幼児の状況をとらえる視点、地域の方や保護者の願いの把握、園の教育方針、園の環境調査）を知る		(1)-③,(2)-①,(2)-②
第5回	領域「言葉」の指導法と保育実践 ①領域「言葉」の特性と幼児の体験を考慮した情報機器及び教材を理解する ②情報機器や教材の有効な活用方法を身に付ける		(2)-②,(2)-③
第6回	領域「言葉」の指導法と保育実践(共同で行う) ①指導案の構造を理解（子ども観、教材観、指導観、展開、まとめ） ②具体的な保育を想定した指導案の作成		(2)-②,(2)-③,(2)-④
第7回	領域「言葉」の指導法と保育実践(共同で行う) ①模擬保育（素話）の実践 ②保育（素話）の振り返りのための話し合い ③模擬保育（素話）の評価と改善		(1)-③,(2)-②,(2)-③, (2)-④
第8回	領域「言葉」の指導法と保育実践 ①領域「言葉」に応じた現代的な課題(特別な配慮を要する乳幼児への指導等)への保育実践 ②DVDで保育実践を視聴し、保育構想をもつ		(2)-1,(2)-2,(2)-3,(2)-5